

# 第73期報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

## ■ 株主の皆様へ

皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、「人と環境に優しい住まい方の創造と提案により社会貢献」することを企業使命感として、経営基盤の強化と収益力の向上により、安定した配当の継続を基本に皆様のご期待にお応えしたいと考えております。当社第 73 期の決算が終了いたしましたのでご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、経済活動が正常化に向かい需要が徐々に回復する一方、急激な為替相場の変動やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰など、景気の先行きは不透明感を増している状況にあります。卸売事業の営業基盤であります住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は全体として横ばいで推移していますが、持家は大きく落ち込んでおります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から住宅展示場の集客が減少したことに加え、資材価格の高騰による住宅価格の上昇が消費者マインドを低下させているものと考えております。

このような環境において、卸売事業では、オリジナルブランドである「ARUMIK」、「Skog」のブランド認知度向上に取り組み、自然素材の輸入関連商品、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品の販売強化と適正価格による販売に努めてまいりました。小売事業では、店舗改修による利便性の向上とテナント誘致による集客力の強化、感染拡大防止策を講じながら各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、第 73 期連結決算は、売上高 351 億 43 百万円(前連結会計年度比 2.3%増)、営業利益 21 億 94 百万円(同 4.6%増)、経常利益 23 億 56 百万円(同 5.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 12 億 97 百万円(同 8.9%増)となりました。

次期につきましては、卸売事業では、オリジナル商品群の販売強化によりキムラブランドの確立を目指すとともに、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気に関連した商品の販売拡大と新商品開発に注力してまいります。小売事業では、お客様へ意味と価値あるサービスを提供し、リアル店舗の強みを活かして売場の進化を図ってまいります。さらに、全ての部門でお客様からの要望にお応えできる専門知識の提供に努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

木村 勇介

## ■ 事業

### ■ 卸売事業

本社および12営業所(北海道内4、本州8)において、住宅用資材の卸売りを行っております。オリジナル商品である換気関連商品の販売強化と適正価格での販売に注力したことを反映し、売上高108億65百万円(前連結会計年度比0.9%減)、営業利益9億20百万円(同9.6%増)となりました。



### ■ 小売事業

子会社である株式会社ジョイフルエーカーにおいて、大型ホームセンター4店、ペット専門店4店、資材専門店1店を運営しております。家庭用からプロ向けの商品まで幅広く販売しております。各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上と接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。これらの結果、売上高218億94百万円(前連結会計年度比3.6%増)、営業利益13億67百万円(同2.6%増)となりました。



### ■ 不動産事業

札幌およびその近郊で不動産の賃貸を行っております。賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けており、売上高4億65百万円(前連結会計年度比23.8%増)、営業利益2億81百万円(同3.5%増)となりました。

### ■ 足場レンタル事業

道央圏(札幌およびその周辺地域)、道北圏で増改築やリフォーム工事などで必要な足場を組立・解体の人材および工程込みでレンタルしております。業務の効率化による生産性の向上と経費節減に努めており、売上高7億71百万円(前連結会計年度比13.0%増)、営業利益28百万円(前年度は営業損失14百万円)となりました。

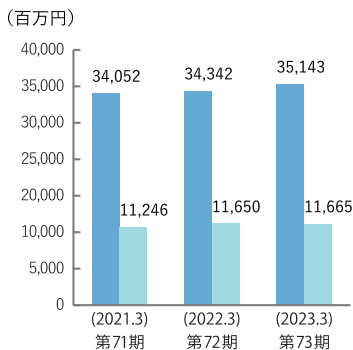
### ■ サッシ・ガラス施工事業

札幌およびその近郊でサッシ・ガラス等の加工、施工販売を行っております。工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、本社改修による一過性の経費増加もあり、売上高11億47百万円(前連結会計年度比3.6%減)、営業利益12百万円(同75.8%減)となりました。

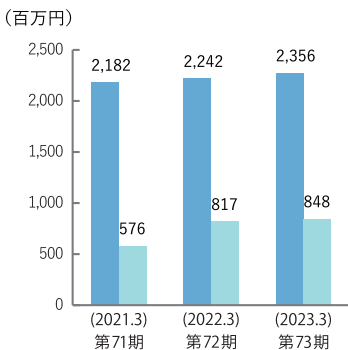
# 業績ハイライト

■ 連結 ■ 単体

## 売上高

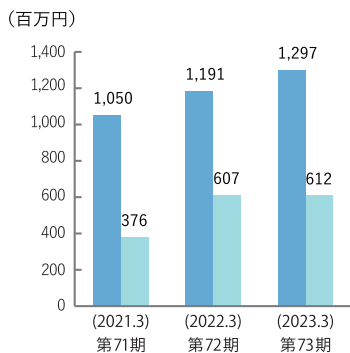


## 経常利益

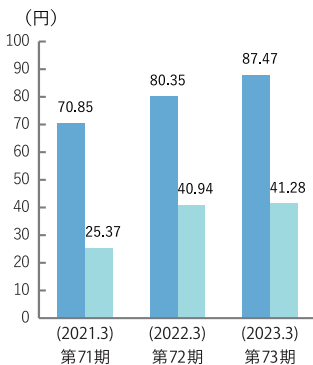


## 当期純利益

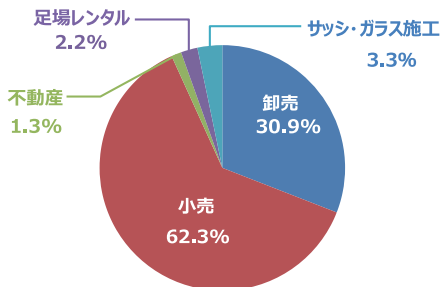
(連結：親会社株主に帰属する当期純利益)



## 1株当たり当期純利益



## 売上高構成比



## 財務諸表等

### ■ 貸借対照表の要旨（連結）

（単位：千円）

科 目	【前 会 計 年 度】	【当 会 計 年 度】
	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	10,080,754	10,929,276
固定資産	15,258,627	15,235,381
有形固定資産	13,261,992	13,050,842
無形固定資産	139,029	180,350
投資その他の資産	1,857,605	2,004,187
資産合計	25,339,382	26,164,657
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,392,676	5,974,477
固定負債	3,573,165	3,380,983
負債合計	9,965,842	9,355,460
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,855,029	13,959,607
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	11,360,252	12,464,859
自己株式	△ 133,001	△ 133,029
その他の包括利益累計額	329,521	383,533
非支配株主持分	2,188,989	2,466,055
純資産合計	15,373,539	16,809,196
負債・純資産合計	25,339,382	26,164,657

### ■ 損益計算書の要旨（連結）

（単位：千円）

科 目	【前 会 計 年 度】	【当 会 計 年 度】
	2021年4月1日 2022年3月31日まで	2022年4月1日 2023年3月31日まで
<b>売 上 高</b>		
売上原価	34,342,982	35,143,560
売上総利益	24,463,849	24,841,360
販売費及び一般管理費	9,879,133	10,302,200
営業利益	7,781,767	8,107,741
営業外収益	2,097,366	2,194,458
営業外費用	165,513	184,342
経常利益	20,221	21,925
特別利益	2,242,658	2,356,876
特別損失	46,196	212,905
税金等調整前当期純利益	10,197	65,183
法人税等	2,278,657	2,504,598
当期純利益	782,414	883,036
非支配株主に帰属する当期純利益	1,496,243	1,621,562
親会社株主に帰属する当期純利益	304,409	324,129
	1,191,833	1,297,432

## ■ 貸借対照表の要旨（単体）

（単位：千円）

科 目	【前 会 計 年 度】	【当 会 計 年 度】
	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,379,369	5,664,761
固定資産	6,618,451	6,654,851
有形固定資産	3,556,092	3,430,968
無形固定資産	25,538	121,352
投資その他の資産	3,036,819	3,102,530
資産合計	11,997,821	12,319,613
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,754,380	1,575,822
固定負債	733,575	760,434
負債合計	2,487,956	2,336,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,180,227	9,599,655
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	7,685,378	8,104,835
自己株式	△133,001	△133,029
評価・換算差額等合計	329,637	383,701
純資産合計	9,509,864	9,983,356
負債・純資産合計	11,997,821	12,319,613

## ■ 損益計算書の要旨（単体）

（単位：千円）

科 目	【前 会 計 年 度】	【当 会 計 年 度】
	2021年4月1日まで 2022年3月31日まで	2022年4月1日まで 2023年3月31日まで
<b>売 上 高</b>	11,650,301	11,665,221
売上原価	9,476,102	9,373,663
<b>売上総利益</b>	2,174,199	2,291,557
販売費及び一般管理費	1,599,258	1,665,065
<b>営 業 利 益</b>	574,940	626,491
営業外収益	242,843	224,053
営業外費用	346	2,009
<b>経 常 利 益</b>	817,437	848,535
特別利益	45,057	9,088
特別損失	-	356
<b>税引前当期純利益</b>	862,494	857,267
法人税等	255,309	244,985
<b>当期純利益</b>	607,185	612,282

## ■ 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社キムラ
英文商号	KIMURA CO., LTD.
本社	札幌市東区北六条東四丁目1-7
設立	昭和26年1月
資本金	7億9,335万円
従業員数	146名

## ■ 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,400千株
発行済株式の総数	15,180千株
株主数	1,466名
大株主(上位8名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社カネキ	5,269	34.71
キムラ取引先持株会	1,379	9.08
株式会社北海道銀行	734	4.84
木村勇介	717	4.73
木村勇市	621	4.09
キムラ社員持株会	456	3.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	455	3.00
株式会社北洋銀行	386	2.54

## ■ 役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	木村 勇介	取締役	小林 美穂子
常務取締役	木村 勇太郎	常勤監査役	奈良 泰
取締役	八代 紀裕	監査役	藤田 健一
取締役	小池 猛夫	監査役	斉藤 博之
取締役	朝日田 雄人	監査役	本間 幹英

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3-3 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社 特別口座管理の場合は、 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324
-------	---

公告の方法	電子公告 <a href="https://www.kimuranet.jp">https://www.kimuranet.jp</a> ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
-------	---



## オリジナルブランド



【エアーセーブ】



【メダス】



【エアボレー】



【スマートeチェンジ2】



自然素材のプライベートブランド

Skog  
スコーグ



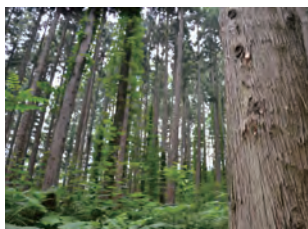
【カフェスタイルシリーズ】



【E-na ドア】



【エーゼットウォール】



【北海道シダー】